

対象国の条件：地熱資源を有する国

研修コース番号：201984853-J002

案件番号：201984853

主分野課題：資源・エネルギー/再生可能エネルギー

副分野課題：

使用言語：英語

案件概要

より良い地熱開発政策・計画について再考するエグゼクティブ向けのプログラム。参加国及び日本の現状と課題やJICAの最新の分析結果を参考にしながら、国と民間の役割分担や民間投資を呼び込むのに必要な投資環境等について議論・検証する。日本の産官学からトップレベルの地熱関係者が意見交換の場に加わると共に、ネットワークの構築を図る。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】
地熱開発を促進するのに必要な地熱開発政策・計画の改善案をアクションプランにまとめる。

【対象組織】
地熱開発政策を担う財務省やエネルギー省

- 【成果】
1. 地熱開発を促進するのに必要な政策、民間投資環境、プラント投資に関する知識を理解する。
 2. 日本及び参加各国の地熱開発政策と開発課題を理解、意見交換する。
 3. 日本及び参加各国の地熱関係者とのネットワークを構築する。

【対象人材】
＜職位＞
地熱開発計画や地熱開発事業の意思決定に深く関与する中堅幹部。当該分野での経験年数が10年以上ある者。
＜その他＞
大卒もしくはそれと同等の学歴を有し、英会話・英語読解力に堪能な者

内容

【事前活動】
カントリーレポート（自国の地熱開発政策・計画の現状と課題）の作成

- 【本邦研修】
1. 開発実績とコストで見た地熱開発政策と国/民間の役割分担、小型坑口発電プラントと大規模発電プラントの経済性比較、民間投資を呼び込むための環境整備に関する講義
 2. 地熱発電プロジェクト経済性評価モデルを活用した実習
 3. カントリーレポートの発表と意見交換、懇親（日本の産官学関係者も参加）
 4. 地熱プラント工場視察
 5. 日本の地熱政策レベルとの意見交換
 6. アクションプランの作成・発表

本邦研修期間	2019/11～2019/11
担当課題部	産業開発・公共政策部
所管国内機関	JICA九州
関係省庁	
実施年度	2019～2021

主要協力機関
調整中

特記事項
及び
ホームページ